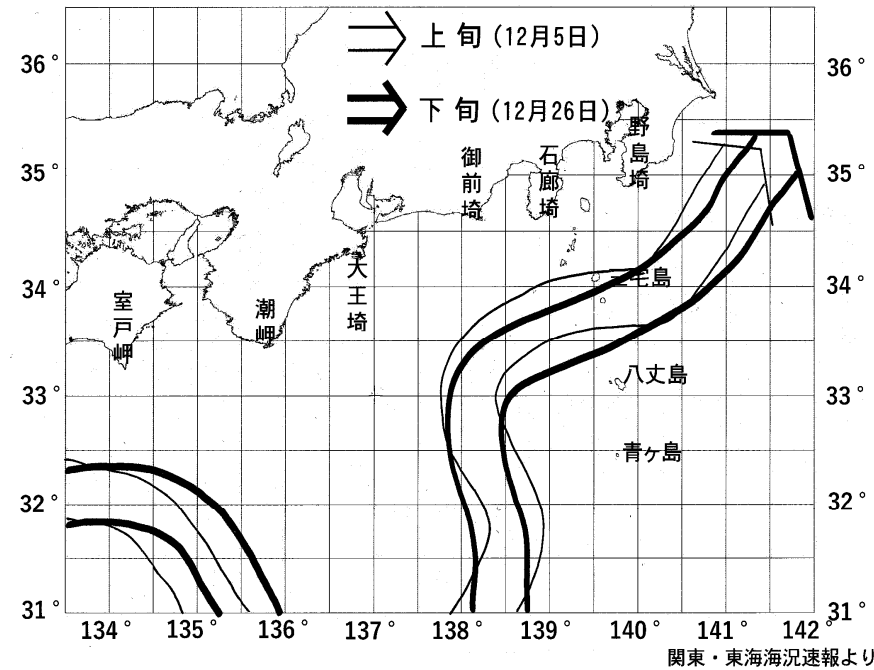


漁海況月報

令和4年12月1日

No. 12 ~12月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

12月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.3	19.5	18.9	20.0	19.9	19.5
	1.3	1.0	0.7	1.8	1.8	1.5
中旬	17.5	17.8	17.4	18.2	17.9	18.0
	0.7	0.2	0.1	1.0	0.9	1.0
下旬	15.7	15.7	16.0	16.3	16.3	16.4
	-0.4	-1.1	-0.6	-0.1	0.0	0.0
月	17.4	17.7	17.4	18.1	18.0	17.9
	0.5	0.1	0.0	0.9	0.8	0.8

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

12月を通じてA型で、大王崎~遠州灘沖で大きく離岸した後、上旬~中旬は石廊崎沖に、下旬は遠州灘沖に北上する流路となった。

上旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から石廊崎沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が一時的に遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

中旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後東進

し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られた。

下旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.0°N付近から御前崎沖33.5°NまでS字状に北上した後北北東に進み、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が一時的に駿河湾沖の黒潮北縁から熊野灘に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東、稲取、下田で「やや高め」、雲見、沼津、焼津で「高め」であった。中旬は稲取、下田で「平年並み」、伊東、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。下旬は稲取、下田で「やや低め」、伊東、雲見、沼津、焼津で「平年並み」であった。

【竿釣カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R4年 12月上旬	0	0	-	-
中旬	0	0	-	-
下旬	0	0	-	-
R4年 12月計	0	0	-	-
R3年 12月計	20.0	14	1.4	639
R2年 12月計	0	0	-	-

【定量網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は234.9トンド、前年(238.9トンド)の98%、平年(289.2トンド)の81%であった。また、1か統あたりの水揚量は33.6トンド(前年:34.1トンド、平年:41.3トンド)であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(62.4トンド、マルソウダ、さば類、オアカモロ)、次いで富戸漁場(40.0トンド、マルソウダ、さば類、オアカモロ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁の表のとおりで、マルソウダは91.5トンド、前年比1.8倍、平年比の9.1倍で、12月の漁獲量としては記録のある1982年以降最も多かった。さば類は33.7トンド、前年比58%、平年比46%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは9.8トンド、前年比66%、平年比2.2倍、ゴマサバは23.9トンド、前年比56%、平年比33%であった。さばっこ銘柄(マサバ、ゴマサバ当歳魚)は12.5トンド、前年比3.63倍、平年比9.6倍と前年、平年を大きく上回った。メアジは14.3トンド、前年比3.5倍、平年比2.6倍であった。ウルメイワシは10.9トンド、前年比2.9倍、平年比3.3倍であった。アカカマスは8.2トンド、前年比2.2倍、平年比2.9倍であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁の表のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは北川漁場が31%(36.2トンド)、富戸漁場が28%(28.4トンド)、さば類では北川漁場が41%、メアジでは古網漁場が35%(5.1トンド)、川奈漁場が21%(3.1トンド)、伊豆山漁場が19%(2.7トンド)、ウルメイワシで

は古網漁場が50% (5.5 トン)、伊豆山漁場が41% (4.5 トン)、アカカマスでは伊豆山漁場が91%(7.4 トン) を占めた。

* 平年：昭和57年～令和3年の平均値
多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	91.5	1.83	9.13	北川、富戸
さば類	33.7	0.58	0.46	北川
メアジ	14.3	3.48	2.55	古網、川奈、伊豆山
ウルメイワシ	10.9	2.91	3.29	伊豆山、古網
アカカマス	8.2	2.17	2.93	伊豆山

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、漁場は上旬は千波に、中旬から下旬は利島に形成された。水揚量はゴマサバ110トン(前年同月比47%)であり、1隻あたり水揚量は13.8トン(前年同月比70%)であった。マサバの水揚は無かった(前年同月水揚僅か)。

平均単価は、161円/kgで前月(150円/kg)を上回り、前年同月(124円/kg)は大きく上回った。水揚物の体長組成は、28cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(棒受網・たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年12月上旬	-	33	2	4	-	8.2	-	172	千波
中旬	-	34	1	2	-	17.0	-	152	利島
下旬	-	43	2	2	-	21.7	-	160	利島
R4年12月計	-	110	5	8	-	13.8	-	161	千波、利島
R3年12月計	0	234	8	12	0	19.5	127	124	千波
R2年12月計	0	281	7	13	0	21.6	216	102	千波

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

令和4年の秋漁は12月21日で終漁となった。12月の出漁日数は5日、水揚量は103.3トンであった(前年同月の出漁日数は7日、水揚量は75.2トン)。主漁場は大井川沖～相良沖であった。水揚げされたサクラエビは体長30～32mmにモードを持つ0歳エビと体長38～40mmにモードを持つ1歳エビから構成されていた。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R4年12月上旬	48.5	2	吉田沖～相良沖
12月中旬	41.5	2	大井川沖～相良沖
12月下旬	13.4	1	大井川沖～吉田沖
R4年12月計	103.3	5	大井川沖～相良沖
R3年12月計	75.2	7	吉田沖～相良沖
R2年12月計	44.3	5	大井川沖～相良沖
R1年12月計	32.1	7	焼津沖～相良沖

[シラス船曳網]

6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が59kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が121kgであった。平均水揚量は77kgで前年同月(195kg)の39.5%、平年同月(過去5か年平均:134kg)の57.4%であった。また、総水揚量は39.0トンで前年同月(166.7トン)の23.4%、平年同期(94.9トン)の41.1%で前年同月、平年同月を大きく下回った。平均単価は2,068円/kgで前年同月(770円/kg)の2.7倍、平年同月(1,376円/kg)の1.5倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	4.0	2	14	283	1,390
	舞阪	9.0	4	71	127	1,354
	福田	3.5	3	44	80	2,167
	御前崎	1.2	3	18	68	1,693
駿河湾	吉田	8.3	8	201	41	2,651
	静岡	13.0	9	158	82	2,406
R4年12月計	39.0	29	506	77	2,068	
R3年12月計	166.7	46	853	195	770	
R2年12月計	115.7	38	791	146	1,060	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では4.6トン(前年同月水揚げなし、平年同月比4.4倍)、小川港では5.2トン(前年同月水揚げなし、平年同月比24.6%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港いずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.5トン、カタクチイワシの水揚はなかった。
*平年：過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

12月 2日	～	12月 2日	水質調査(環境衛生科学研究所)	(1日間)
12月 5日	～	12月 6日	地先定線観測調査	(2日間)
12月 12日	～	12月 13日	さば類音響標識放流調査	(2日間)
12月 15日	～	12月 15日	古野電気波浪解析装置校正	(1日間)
12月 21日	～	12月 21日	Ma0I 深海採水調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

